



学校だより 043
令和7年1月22日発行
大子町立
袋田小学校
ホームページ
QRコード



人権教室 **好きな色は？ 男らしさ、女らしさとは？**

1月22日(水)に、全学級でDVD教材を視聴し、「人権尊重」について学習しました。

自分らしくあることのすばらしさや他者を尊重する姿勢を学びながら、「多様性の理解と受容」について考え、各学級で意見交換を行いました。子どもたちは、真剣に考え、自分らしさの大切さについて学び合うことができました。



●🍷🍎 **全国学校給食週間** 🍷🍎● **1月24日～30日**

学校給食は、明治22年に山形県の鶴岡町（現在の鶴岡市）にある小学校で始まりましたが、太平洋戦争中に食料不足で中止となり、戦後の昭和21年12月24日に外国の支援によって学校給食が再開しました。この日を「学校給食感謝の日」としました。しかし、冬休みに入ってしまうため、1か月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」としたそうです。



学校給食の目的は次のとおりです。

- 【目的】●児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものである。
- 学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図る。

現在は、偏食や生活習慣病の増加など、子どもたちの健康状態が心配されることから、学校給食は「食育」と位置付けられ、バランスの良い食事のお手本として、「生きた教材」の役割を担っています。

【大子町学校給食センター】(HP: <https://www.daigo.ed.jp/page/dir000013.html>から)

給食センターQRコード

大子町給食センターは、地場産物を生かした安全安心でおいしい給食づくりを目指しています。現在、小学校6校、中学校4校、幼稚園1園に学校給食を提供しています。平成28年6月からは、県立大子清流高校給食提供事業を実施し、生徒及び教職員の希望者に対し、給食提供を行っています。



令和5年9月1日からは、「大子町立学校給食センター防災対応型炊飯センター」の炊飯業務を開始しました。防災対応型炊飯センターは、大子町産のおいしいお米を使った米飯を、安定して学校給食に提供することを目的に整備されました。また、災害等の発生に備え、非常用電源装置を設置しています。

給食センターホームページには、毎日「献立」がアップされています。ぜひ、ご覧になってください。

■袋田っ子の活動■



◆善行賞表彰◆1月20(月)、22日(水)

◆クラブ◆1月20日(月) ◎スポーツ ◎創作・サイエンス



◆元気っ子タイム◆ 1月21日(火)

学級ごとに楽しく遊びました！！

